

災害に備えて...



水道課では、東日本大震災に日本水道協会の要請を受け、被災地の岩手県大船渡市・陸前高田市において、給水車による応援活動を行いました。また、平成23年9月の台風12号では清水地区において被害が発生し、給水タンク車(1,000リットル)による給水活動を行いました。

この被災地給水活動の経験を活かし、災害時または断水時等に迅速な給水活動が行えるよう本年度事業として、加圧式給水車(3000リットル)を1台、飲料水給水水槽(500リットル)を3セット、給水袋(6リットル)を約1000袋整備いたしました。この給水車には加圧ポンプを装備していますので、高い所や道路の狭い所でも水を送水することが出来ます。

災害時には、最低一日一人3リットルの水が必要と言われており、皆様のご家庭でも日頃から防災意識を持ち災害に備えておきましょう。

また、防災体制として、吉備地区において水道用業務無線を開設していましたが、今年度から業務無線のエリア拡張事業を行い、通信可能なエリアを金屋地区においては全域、清水地区においては一部を除く国道480号沿線に拡張し、防災体制の強化を図りました。



◎給水車仕様

- ・車 両：3tディーゼル車
- ・タンク容量：3,000リットル
- ・装 備 等：飲料水タンク (SUS304 ステンレス)
加圧ポンプ (全揚程 25m、吸込み揚程 5m)
給水栓 5カ所
放送設備
水道用業務無線